



嬉しい気持ちで！

連日の朝晩の冷え込みも厳しく、冬の訪れを感じる頃となりました。2学期も終わり、明日からは冬休みになります。クリスマス、年末年始が近く、家族と過ごす時間、お出かけの機会等、普段と違う生活リズムになると思いますが、体調管理をしっかりととして、楽しい冬休みにしてほしいと思います。

2学期多くの行事に取り組み、子供たちは大きく成長してきました。日々の成長で培われていく力は多岐にわたっています。その中でも「自立」「共同」といった力は、この小学校期において身につけておかなければならぬ大切な力の一つではないでしょうか。一つ一つの行事はどれも子供たちにとって大切な取組であり、成長の良い機会となります。今年一年、多くの行事に保護者の皆様の、御理解と御協力があったことに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。さて、「自立」と「共同」を身につけるためにはコミュニケーションが大切になります。良い人間関係の構築を図るために、お互いの立場を尊重したり、認め合ったりしていくことが大切です。しかし、人間はどうしても人は相手の悪いところに目が行きがちです。しかし、意識して良いところを見たり、感じたりすることでお互いの理解が深まり、より良い人間関係につながります。良くも悪くも「何気ない一言」「何気ない行動」が相手の人生を大きく変える可能性だってあります。だからこそ「良いところを見る」「良いところを感じる」「良い言葉掛けをする」ことが必要になります。子供たち同士はもちろんのこと、お父さんやお母さんとの関わりも同じですね。みんなが気持ちよく生活するには、どう接したらいいか考えていくたいですね。御家庭においても 2025 年 12 月 31 日に家族全員が「今年 1 年、ありがとう。いい年だったね！」といって、終えられるとすばらしいですね！

百聞は一見にしかず

先日 6 年生と一緒に「狂言ワークショップ」に行ってきました。これは「万作の会」が狂言普及のために全国各地で開催しています。山梨では 7 年前に始まり、今では多くの小学校が参加しています。前半は「柿山伏」の講演、後半は各校の代表がステージに上がり、ワークショップを通して狂言のほんの一場面ですが体験しました。狂言は古く室町時代から続く、日本の伝統芸能の一つであり現代に受け継がれています。現代の私たちの周りは、デジタル化が進みアナログな物が少なくなっていました。狂言のように師匠から弟子に受け継がれるような日本の伝統も、ややその存在が薄くなっているように感じます。だからこそ今回のように本物に触れることができ大切ではないでしょうか。大人の価値観で善し悪しを判断するだけではなく、子供たちに多くの経験や体験を積ませ、そこから子供自身が取捨選択する力を身につけさせたいですね。これから冬休みに入り、大晦日やお正月を迎えます。日本の古き良き伝統を、肌で感じができると素晴らしいと思います。最後になりますが、今年も一年多くのことに御協力、御理解をいただき感謝申し上げます。新年も素晴らしい年であることをお祈り申し上げます。